

<報道資料>

第3回神儒仏合同講演会 心の通い合いを求めて～災害と企業倫理～

神田神社（神田明神＝神道）、斯文会（湯島聖堂＝儒学）、東方研究会（東方学院＝仏教）の三者は、本年も神儒仏合同講演会『心の通い合いを求めて～災害と企業倫理～』を開催します。

日時：7月30日（土）午後1時～4時30分、場所：神田神社・祭務所ホール

2011年7月
神儒仏合同講演会実行委員会
宗教法人神田神社（神田明神）
財団法人斯文会（湯島聖堂）
財団法人東方研究会（東方学院）

神田明神、湯島聖堂、東方学院による神儒仏合同シンポジウムは、2008年6月8日に三法人の地元ともいえる東京・秋葉原で起きた無差別殺傷事件をきっかけに始まりました。事件は、現代社会から人と人との繋がりが失われ、特に若者たちが孤独に追いやられている現状を浮き彫りにしましたが、三法人は、こうした状況を少しでも良い方向に変えていくためには、立場の違いを乗り越えて協力すべきとの考えで一致し、現代社会を考えるために『心の通い合う社会を求めて～他者への関心、秋葉原事件を受けて』を企画、開催しました。

幸いこの試みは多くの方々に支持され、共感を得られたため、三法人は内容をより深めながら今後も継続していくことを決め、2回目となる昨年は「いのちを生きる」をテーマに開催、第3回目となる本年は、シンポジウムから合同講演会に形式を改め、『心の通い合いを求めて～災害と企業倫理』を開催します。三法人はこの活動を通じて、地域社会と現代人に対し、心の社会貢献を行っていきたいと考えており、併せて神儒仏の対話による相互理解と協調を図っていく所存です。

■ 本年度のテーマ『心の通い合いを求めて～災害と企業倫理』について

国家・社会の繁栄に企業は大きな役割を果たしています。だからこそ、それなりに責任と義務がありますし、旧来も企業倫理は種々に論じられてきました。今回の東日本大震災は今後反省し、考えるべき大きな課題を残しています。

一つには科学技術を真に人間の幸福のために生かすための姿勢はどうあるべきなのか、という問題です。それは同時に企業とは何なのかという基本的問いかけにも連なります。モノやカネの問題ではなく、すぐれて人間の在り方にもかかわるものでしょう。

今回の災害を縁として、日本の精神的風土の一翼を担う三法人では、あらためて、あるべき企業倫理を神道・儒学・仏教のそれぞれの立場から、考えてみたいと思います。講演には、神道：『生命関連企業の責任とセルフメディケーションについて』藤井隆太氏、仏教：『日本再生と企業倫理』安原和雄氏、儒学：『孔孟に学ぶ企業倫理』瀬口龍一氏を迎えます。

なお、応募要項、講演会概要、講演者のメッセージは以下の通りです。

第3回神儒仏合同講演会「心の通い合いを求めて～災害と企業倫理～」

平成23年7月30日（土）会場・神田神社祭務所ホール

<応募要項>

日 時：2011年7月30日（土） 午後1時～4時30分（予定）
会 場：神田神社・祭務所ホール 東京都千代田区外神田2-16-2 TEL03（3254）0753

<アクセス JR御茶ノ水、東京メトロ丸の内線、お茶の水駅、東京メトロ
千代田線、新御茶ノ水駅より徒歩5分、JR秋葉原駅より徒歩7分>

定 員：150名 参加費：1,000円 応募〆切：7月20日〆切日消印有効

応募要項：メールまたは往復葉書でお申し込みください。

1) メールでのお申込先 info@toho.or.jp

2) 往復はがきでのお申込先（1枚で3名様、同伴者名前要）

記載内容：①郵便番号②住所③名前④年齢⑤電話番号を明記の上、
〒101-0021 千代田区外神田2-17-2「東方研究会 神儒仏合同講演会係」宛
追って返信はがき、メールにて参加券をお送りします。（お申込多数の場合は抽選）

※応募要項に関する一般の方のお問い合わせ先

（財）東方研究会 事務局 TEL 03（3251）4081（11時～5時）

<神儒仏合同講演会概要>

午後1時	開会の辞（開場12時30分）	奈良 康明（財）東方研究会常務理事 三法人代表挨拶 大鳥居 信史 神田神社宮司
午後1時10分	講演【神道】『生命関連企業の責任とセルフメディケーションについて』 藤井 隆太氏：（株）龍角散代表取締役社長・（社）東京生薬協会会長 （社）神田法人会副会長	
午後2時10分	講演【仏教】『日本再生と企業倫理』 安原 和雄氏：足利工業大学名誉教授・仏教経済フォーラム副会長・ 元毎日新聞論説委員	
午後3時10分	講演【儒学】『孔孟に学ぶ企業倫理』 瀬口 龍一氏：（財）斯文会顧問・日立建機（株）名誉相談役・ （社）日本バリュー・エンジニアリング協会会長	
午後4時05分	司会者まとめ 吉津 宜英（博士） 駒澤大学仏教学部教授・仏教経済研究所所長	
午後4時25分	御礼挨拶 前田 專學（財）東方研究会理事長	
午後4時30分	閉会の辞 奈良 康明（財）東方研究会常務理事	

本資料に関するお問い合わせ先

神儒仏合同講演会実行委員会 広報（東方研究会） TEL03（3251）4081
または、スポンテナティブ 笹木 TEL03（5912）6621

お手数ですが1)掲載の折にはご一報のほどお願いします。

尚、当日のご取材を賜ります折には、添付の返信シートにご記入の上、ご返信ください。

<資料—講演者メッセージ>

【神道】藤井隆太氏 『生命関連企業の責任とセルフメディケーションについて』

生命関連企業にとって生活者の安心安全は全てに優先されるべきである。人間の身体は環境の変化や加齢などによって刻々と状態が変化するが、普段から身体の状態を把握し、薬剤師に相談して市販薬を服用するなど早めに手当することをセルフメディケーションと言う。これにより何もせず突然状態が悪化して入院するなど最悪の事態に至ることを防げれば、苦痛を軽減したり公的医療費を削減することが期待できる。普段から災害に備えて準備しておくことと、どこか共通点があるのではないだろうか。

【仏教】安原和雄氏 『日本再生と企業倫理』

「3. 11」（東日本大震災、原発惨事）は、日本の近現代史上、何を意味しているのか。大づかみに言えば、<明治維新>、<敗戦後の戦後改革>に次ぐ第三の<「3. 11」後の平成の変革>を促して止まない。

「平成の変革」とは、戦後の政治、外交、経済路線の質的変革であり、具体的には脱「日米安保」、脱「原発」、脱「経済成長主義」、脱「グローバリズム」さらに望ましい「企業倫理」の実践にほかならない。この変革のありようを仏教経済学の視点（八つのキーワード=いのち、非暴力・平和、知足、共生、簡素、利他、持続性、多様性）で考え、提案したい。

【儒学】瀬口龍一氏 『孔孟に学ぶ企業倫理』

東日本大震災は、自然災害に対する人間の無力さを再認識させるとともに、人災のそれに劣らぬ怖さを改めて示した。人は天災に対する備えとともに、人間みずからが、自らに災いを課す人災の根絶に向けて、強く行動すべきである。

今回の原発事故は政府に加え、企業の社会的責任の問題を改めてクローズアップした。この際2500年の昔から真理として、多くの人々に示唆を与えてきた“孔孟の教え”を紐解きつつ、改めて企業倫理の問題について考えてみたい。

ご返信シート fax No03 (3251) 4082

第3回神儒仏合同講演会 事務局
広報：(財) 東方研究会事務局 行

第3回神儒仏合同講演会
「心の通い合いを求めて～災害と企業倫理～」

平成23年7月30日(土) 午後1時～4時30分
会場 神田神社祭務所ホール TEL 03 (3254) 0753
千代田区外神田 2-16-2

に 参加します

欠席します

会場アクセス：JR 御茶ノ水、東京メトロ丸の内線、お茶の水駅、東京メトロ
千代田線、新御茶ノ水駅より徒歩5分、JR 秋葉原駅より徒歩7分

貴媒体名：

御芳名：

ご連絡先：

※お電話の場合は03 (3251) 4081 にお問い合わせ致します。